



プランタン管弦楽団

第13回定期演奏会

PROGRAMME

W.A. モーツァルト

歌劇「イドメネオ」序曲 K.366

伊藤 康英

管弦楽のための交響詩「ぐるりよざ」

J. シベリウス

交響曲 第2番 二長調 op.43

指揮 ● 中村 暢宏

2014

7.27 13:00 開場
13:45 開演

愛知県芸術劇場コンサートホール

[地下鉄栄駅より徒歩2分]

全自由席 500円

チケットぴあ tel 0570-02-9999 Pコード [227-392]
チケットぴあスポット、サークルK、サンクス、セブンイレブン各店でも直接お買い求めいただけます
愛知芸術文化センタープレイガイド tel 052-972-0430
名古屋市文化振興事業団チケットガイド(ナディアパーク8F) tel 052-249-9387
その他プレイガイド・楽器店などにて発売

主催 ● プランタン管弦楽団

後援 ● 名古屋市 名古屋市教育委員会
公益財団法人名古屋市文化振興事業団 中日新聞社

お問合せ ● 080-3668-4058 プランタン管弦楽団

URL <http://orchestreprintemps.com/>
E-mail printemps0163@yahoo.co.jp

小さなお子様のご鑑賞は他のお客様の迷惑にならないようお願いいたします
◎託児サービスのご案内 ※7/23(水)までにお申し込みください
託児料金：お子様一人につき 1,000円
お申し込み・お問合せ：トットメイト tel 0120-01-6069 (9:00-17:00)





第12回定期演奏会 ベルリオーズ:幻想交響曲 第 2013.7.7 愛知県芸術劇場コンサートホール



ウィンターコンサート 2013.12.8 アートピアホール
[共催: なごや環境大学]

ブランタン管弦楽団は、2000年に結成された多様な出自のメンバーによるアマチュアオーケストラです。毎年夏に定期演奏会、隔年冬にウィンターコンサートを開催しています。第13回となる今回の定期演奏会は、初挑戦となる北欧のシンフォニー「シベリウス2番」、第11回に続き二度目の邦人作品として「ぐるりよざ」、当団定番の古典派からは「イドメネオ」というプログラムをお届けします。「ぐるりよざ」第1楽章の標題にもなっている「祈り」が伝わるような演奏を目指して練習に励んでいますので、是非ともご来場くださいますよう団員一同心からお待ちしております。

ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト ● 歌劇「イドメネオ」序曲 Wolfgang Amadeus MOZART 1756-1791 Austria

ギリシャの南端にあるクレタ島を舞台とし、息子を海神の生贄に捧げることとなってしまったクレタの王イドメネオの苦悩や、その息子と敵国の王女との恋が描かれる。モーツァルトのオペラ・セリアの中でも傑作とされており、序曲も劇の内容に見合った堂々として充実したものとなっている。喜劇の「フィガロの結婚」等とはまた別の魅力がある作品。



伊藤康英 ● 管弦楽のための交響詩「ぐるりよざ」 Yasuhide ITO 1960- Japan

鎖国時代の長崎隠れキリシタンをモチーフに作曲された。題名の「ぐるりよざ」は、長崎生月島に伝わるキリスト教の聖歌「Gloriosa」が訛った言葉である。キリシタンに歌い継がれてきた「さんじゅあん様のうた」や長崎地方の民謡「ぶらぶら節」といった曲も素材としつつ変奏曲やフーガの技法も取り入れられるなど、東洋と西洋の文化が巧みに融合された、静謐な祈りと熱狂的な盛り上がりを併せ持つ作品。原曲は良く知られた吹奏楽曲であるが、作曲者自身による管弦楽版の演奏機会は貴重であるといえよう。



ジャン・シベリウス ● 交響曲第2番二長調 Jean SIBELIUS 1865-1957 Finland

北欧を代表する作曲家シベリウス。交響詩「フィンランディア」で顕著のように、国や自然を愛する作曲家としてフィンランドばかりでなく世界中で親しまれているが、彼が作曲した7つの交響曲の中で最もポピュラーと言えるのがこの第2番であろう。曲は、湖水豊かでのどかな風景がイメージされるような冒頭に始まるが、徐々に迫りくる圧迫や抑圧に耐えているかのように不安に沈んでいく。しかしやがて絶望から立ち上がり、歓喜に満ち溢れた力強く輝かしい凱歌へと続き幕を閉じる。



指揮 ● 中村 暢宏 Conductor: Nobuhiro NAKAMURA

1973年東京都生まれ。1996年愛知県立芸術大学(ヴィオラ専攻)卒業。これまでに指揮法を宮松重樹、河津政実、田久保裕一、秋山和慶、A.ポリシュク、V.シナイスキーの各氏に師事。ヴィオラ奏者として、中部フィルハーモニー交響楽団トップ奏者を務めるなど各地のオーケストラで活動。指揮者としては、国内での活動に加え、2007年にサンクトペテルブルク、2012年にブルガリアのプロヴディフ、2013年にはウィーン楽友協会でも指揮を行う。これまでに愛知室内オーケストラのミュージックアドバイザー、一宮市消防音楽隊常任指揮者などを歴任。現在、ブランタン管弦楽団常任指揮者、名古屋アマデウス室内管弦楽団音楽監督、名古屋市民吹奏楽団常任指揮者、椛山フィルハーモニーオーケストラ指揮者、愛知工業大学管弦楽団指揮者など数多くを務める。名古屋フランス音楽研究会員。



「ぐるりよざ」男声合唱 ● 合唱団ピンクエコー

1998年結成の混声合唱団。団名は、極致や洒落者を意味する。音楽監督・指揮者は友森美文氏。これまでに、オペラ「魔笛」、名古屋マラー音楽祭「交響曲第8番(千人の交響曲)」、アートピア音楽祭などに参加。個性的で活力ある活動が顕著な団体として、2010年度に愛知県合唱連盟より「藤井賞」を受賞。